

新型コロナウイルスによるトラック業界への影響調査【第2回目調査結果概要】

1. 調査の目的

新型コロナウイルスによるトラック業界への影響を把握し、政府等の経済対策等の検討に際し、トラック業界の窮状などを説明するための基礎資料として活用する。

2. 調査対象及び方法

調査対象は、全国の貨物自動車運送事業者。全ト協から全国の県ト協及び部会に調査協力依頼を発信し、インターネットによる調査を実施した。

3. 主な調査項目

- ①令和2年4月～6月までの各月について、「運送収入」の実績又は見込みと前年同月の状況
- ②令和2年4月～6月までの各月について、荷主からキャンセルされた「金額」の実績又は見込み
- ③資金繰りの状況について
- ④国の施策の活用状況について
- ⑤トラック業界として国に要望すべき経済対策について
- ⑥雇用状況について対応したこと

4. 調査期間

令和2年4月23日(木)から4月30日(水)まで

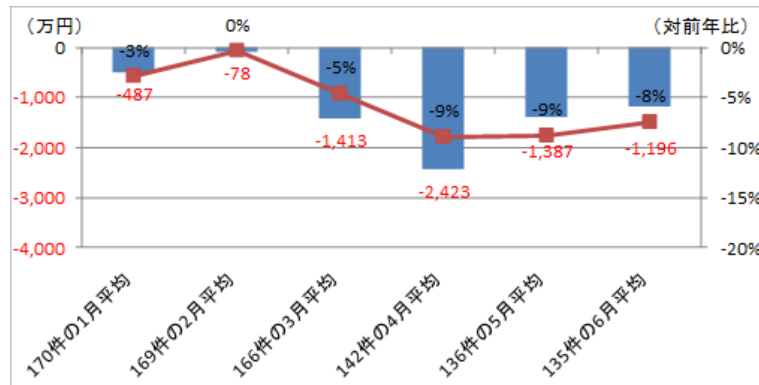
5. 回答者数

147件

6. 結果

6. 1 令和2年1月～6月までの各月について、「運送収入」の実績と前年同月の状況

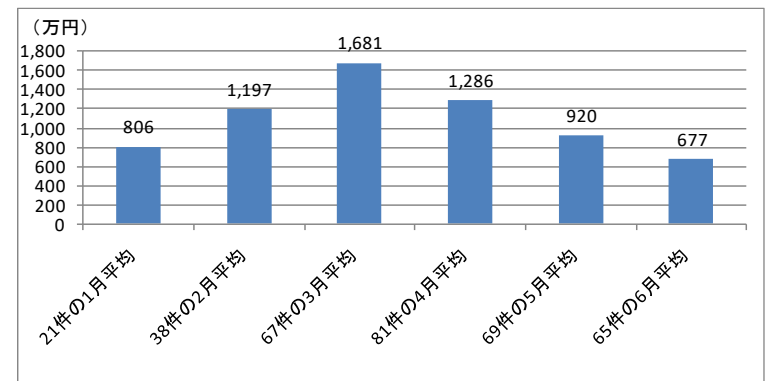
1月は平均△487万円(対前年比△3%) 2月は平均△78万円(△0%)
 3月は平均△1,413万円(△5%) 4月は平均△2,423万円(△9%)
 5月は平均△1,387万円(△9%) 6月は平均△1,196万円(△8%)
 の収入減となっている。
 4月の運送収入の減少額が大きい。



※当該月の実績と前年同月の両方を回答した回答者のみを計算対象とした。
 ※3月は第1回調査期間中の状況における実績又は見込み。
 ※5月及び6月は見込み。

6. 2 令和2年1月～6月までの各月について、荷主からキャンセルされた「金額」の状況

1月は平均806万円 2月は平均1,197万円
 3月は平均1,681万円 4月は平均1,286万円
 5月は平均920万円 6月は平均677万円
 となっている。
 3月はキャンセルされた「金額」が多い。

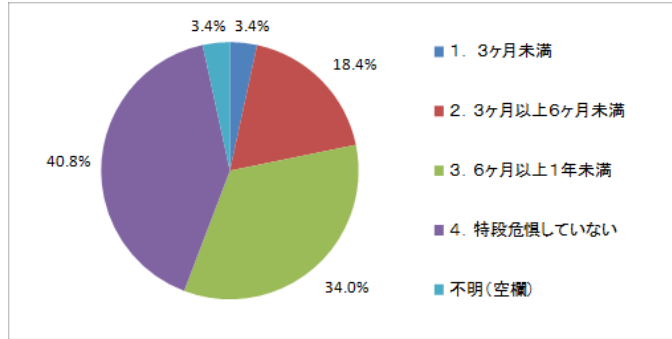
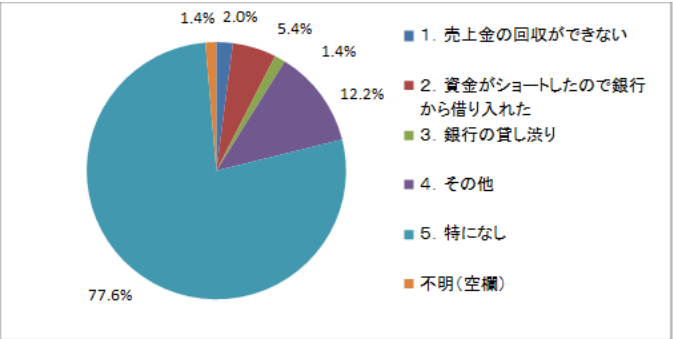


※1月及び2月は第1回調査期間中の状況における実績。
 ※4月は第2回調査期間中の状況における現時点での実績又は見込み。



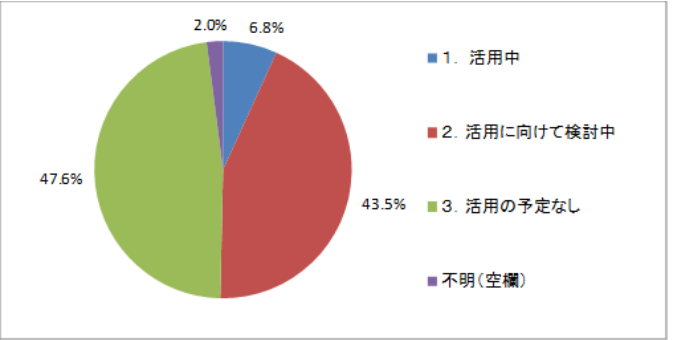
6.3 資金繰りの状況

資金繰りで困っていることについては、「特になし」が8割近くを占める。
 一方、現在の状況が続いた時、最悪の場合、「6ヶ月以上1年未満で経営が保てなくなる可能性」が3割以上を占める。

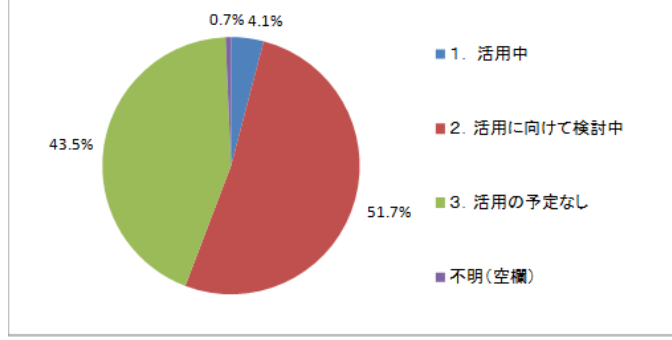


6.4 国の施策の活用状況について

(1) 資金繰り支援(セーフティネット貸付、セーフティネット保証等)
 「活用の予定なし」と「活用に向けて検討中」に分かれる。

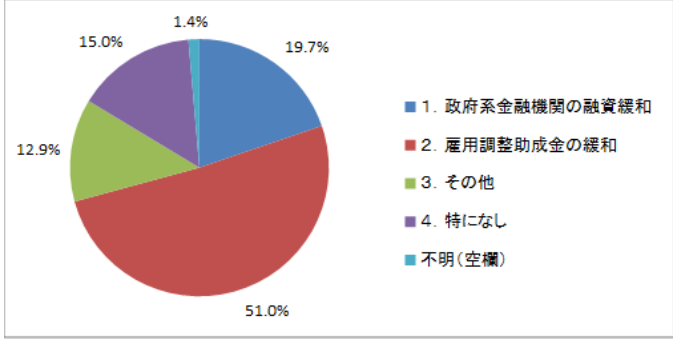


(2) 雇用調整助成金
 「活用に向けて検討中」が5割以上を占める。



6.5 トラック業界として国に要望すべき経済対策について

「雇用調整助成金の緩和」が5割以上を占める。



6.6 雇用状況について対応したこと

「特になし」が4割近く、「有給休暇取得をしてもらっている」が3割以上を占める。

